

数々の課題へ挑戦していく飛躍の1年へ

当所議員新年会が開催されました

館林商工会議所議員新年会が1月9日(火)、館林市の日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホールにおいて開催された。当所役員・議員など約180名が出席し、新年を祝した。

正田会頭は、1月1日に能登半島で発生した地震の被害について触れ、被災地域へのお見舞いを述べたのち、「今年の干支は甲辰（きのえたつ）で、「甲」は優勢でまっすぐな大木、「辰」は架空の龍で、成功と強靱な力を象徴しています。昨年のスポーツでの活躍や商工会議所の未来メッセージより、地域との連携や柔軟な変化への対応が重要であると再認識しました。当所では引き続き、会員満足度の向上・会員拡大及び財政改善・職員の育成の3つの基本課題を念頭に、コロナ後の資金繰り対策・事業承継・人手不足・中心市街地活性化等の短期的な課題にも挑戦していきたい。」とあいさつした。

続いて、山本県知事、多田市長、権田市議会議長、笹川・福重衆議院議員、県議会を代表して須藤県議より祝辞をいただき、正田会頭と多田市長によるダルマの目入れが行われた。本年は新春席書披露として、Menkoi ガールズによる書道パフォーマンスも行われ、式典は大いに盛り上がった。

式典終了後には、会場を文化会館に移して立食形式での懇親会が行われた。年男年女による鏡開きに続いて河本顧問の音頭で乾杯がなされ、参加者たちは懇親を深めていた。

また、本新年会では令和6年能登半島地震における災害義援金の募金箱を設置し、支援を呼びかけた。集まった義援金は、日本商工会議所へと送金し被災地復興支援へ役立てられる。義援金は引き続き、当所窓口でも募集している。詳細は下記の通り。



(▲ 議員新年会の様子)



(▲ 正田会頭によるあいさつ)



(▲ ダルマの目入れ)



(▲ 新年席書)



(▲ 鏡開きの様子)

令和6年 能登半島地震

災害義援金募金へのご協力をお願いします



日本商工会議所では、1月1日に石川県能登地方を震源として発生した地震を受け、義援金を募集しています。義援金の目的は、被災事業者の事業再開、被災商工会議所の再建、観光回復等に係る事業への活用など。

館林商工会議所では、2月22日(木)まで、趣旨に賛同される方のご協力をお願いしております。商工会議所窓口にも募金箱を設置するほか、お振込みでも受け付けております。皆様のご協力、ぜひよろしくお願いいたします。

【振込口座】

群馬銀行 館林支店 普通 1700374

口座名：館林商工会議所 特別事業（たてばやししょうこうかいぎしょ とくべつじぎょう）

※大変恐縮ですが、振込手数料は貴社にてご負担願います